

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているのでござるよ。



鳴立庵大使「えんくん」
※俗名は佐藤義清(のりきよ)。
出家して法号は円位、後に西行。

◆ 今月の俳句 ◆

マスクするえがお失うかなしいな

大磯町立国府小学校 近藤 姫璃奈

◇ 今月の短歌 ◇

秋の空 水晶の青にふと思っ

大磯町立国府小学校 高橋 美音

(評) きせつのことばは「マスク」。「ふゆ」になると、「かぜ」を人にくつつさないように「マスク」をします。「マスク」は人からうつされにくいやくにもたちます。また、さいきんは「コロナ」がはやっているの、学校でもスーパードでも「マスク」をするやくそくになっています。「マスク」をしていれば少しあんしんですが、ざんねんなのは、人の「えがお」が見えないこと。先生のかおも、友達のかおも「マスク」で見えないので、今までみたいに楽しくありません。

(鳴立庵庵主 本井 英)

(評) 秋空を「水晶の青」ととらえたのが素晴らしい。透明度の高い青い色と澄んだ空気を感じます。悲しいときや淋しいときに空を仰ぐと、水晶が変わらぬ輝きを放っているのです。それを見ると、さびしい気持ちも受け容れられるのではないのでしょうか。「どんなときでも」という句が、そう思わせるのです。美には人の心を安らかにする力があると、あらためて思いました。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61) 6926

定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
連句勉強会	2月5日(日)	10:00~正午	連句づくりを楽しもう! 5期生募集中 講師: 本井 英氏(鳴立庵庵主) 定15人 費2,000円(入庵料込)
寄席	2月11日(土)	開場13:00 開演13:30	演目: 「時そば」「厩火事」「王子の狐」 演者: 桂 三十助、三笑亭 空巢、柳家 お三治 定15人 費800円(入庵料込)
座禅	2月18日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講師: 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
切り絵展示	2月19日(日)	11:00~15:00	切り絵の展示・販売~「願わくは花の下にて」西行の桜に寄せる恋こゝろを女流芸術家たちが綴ります~ 講師: 宮本 なる氏、和久津 克美氏、西崎 由里子氏、松葉 智穂氏 費800円(入庵料込)
花の会	2月22日(水)	14:00~16:00	チューリップを使った春らしいアレンジ 講師: 府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
伝筆	2月26日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講師: 認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対象: 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費・入庵料込)
茶と遊ぶ	3月4日(土)	10:00~正午	急須で緑茶を淹れてみよう 講師: 高野 幸代氏 定10人 費2,800円(お茶菓子付き・教材費・入庵料込) 持急須、湯呑、エプロン、筆記用具



大磯 鳴立庵の入口の景色

大磯町立図書館所蔵
鳴立庵絵はがきより



切り絵